



# あかしの社会福祉

No.74 2012. 4.

編集・発行  
社会福祉法人  
**明石市社会福祉協議会**  
〒673-0037 明石市貴崎1丁目5番13号  
市立総合福祉センター内  
☎(078)924-9105  
http://www.akashi-shakyo.jp

明石市社会福祉協議会

検索

## 東日本大震災から1年が過ぎて



市立総合福祉センターでの東日本大震災パネル展示の様子

昨年の3月11日の東日本大震災から1年が過ぎました。被災された地域では復興への道のりを歩み始めたばかりです。この間、市社会福祉協議会では、市民のみなさまからの義援金の受付やボランティアバスの運行、ボランティアセンター運営支援のための職員の派遣などの支援を行ってまいりました。また今年の3月1日からは、市役所や総合福祉センターなどで震災を風化させないためのパネル展示や災害ボランティアの登録の呼びかけのほか、引き続き義援金の受付も行ってまいりました。

今後も市社会福祉協議会は、被災された地域の復興支援に向けての取り組みを行うとともに、東南海地震や南海地震も予想されることから、地域の住民やボランティアの協力を得て、被害を少しでも減らす「減災」に向けての取り組みを行ってまいります。

- 目次** 平成24年度事業計画・・・P2～P3 社協プランの進行管理の進捗状況・・・P4～P5
- 平成24年度予算、会員募集(会費)のお願いとお礼ほか・・・P6
- ボランティア養成講座のご案内、善意銀行・・・P7 インフォメーション・・・P8

回																				
覧																				

※UDフォント(UD=Universal Design)を使用しています。

# 平成24年度明石市社会福祉協議会事業計画

## 1. 事業方針

市社会福祉協議会（以下「市社協」という。）は、平成23年3月に、今後5年間の事業活動の指針となる「地域福祉活動計画～地域の福祉力を高める社協プラン～」(以下「社協プラン」という。)を策定しました。

本年度は、この社協プランの2年目の年であり、1年目の成果を検証しながら、さらなる地域福祉力の向上を図るために、市民、地域・福祉関係団体、行政など多様な主体が一体となって活動できる体制づくりを進め、より一層の地域福祉の推進に取り組んでまいります。

### 基本理念

それぞれの地域が、それぞれの特色を活かした方法で、「誰もが安心して住み続けることができる地域づくり」に取り組もう

### 基本方針

#### (1) 住民主体で地域の福祉力・地域力を高める

- ・それぞれの地区における地域福祉活動の中心組織として地区社会福祉協議会を位置づけます。
- ・地域住民の参画と協働による地域福祉活動の推進を図り、地域の福祉力・地域力を高めていきます。

#### (2) 人のつながりに支えられた地域の安全・安心を高めていく

- ・誰もが安心して住み続けていくために、住民相互の支えあい活動をさらに充実させます。そうした活動を通じて、福祉事業者やNPO、ボランティアなどとネットワークを広げていくことで、制度の隙間のニーズに応えた新たなサービスの開発につなげていきます。

本年度の重点的な取り組みとして、昨年度に導入した地区社会福祉協議会の活動支援強化のための地区担当制をさらに充実させるとともに、地域との継続的な連携を図るため、市派遣職員を順次、社会福祉士などの専門職に置き換えていくなど、市社協採用のプロパー（専従）職員を中心とした体制づくりを進めてまいります。また、社協プランの確実で効率的な推進を図るため、PDCAサイクル（計画、実施、検証、見直し）による進行管理を行い、その結果を次年度以降の取り組みに反映させてまいります。4ページ以降に進行管理の進捗状況を掲載しています。

## 2. 主要事業 (●は新規、拡充、見直し事業、○は継続事業)

### 1 地区社会福祉協議会（以下「地区社協」という。）の活動支援を強化する

- ①地区社協の特性を活かした地区社協の在り方の再検討
  - 地区社協が主役となった圏域の活動の支援 **拡充** 82千円
  - 地区社協フォーラムの開催
  - 地区社協への幅広い団体の参加 **拡充**
- ②市社協における地区担当制の充実
  - 市社協における地区担当制の充実 **拡充**
- ③まちづくり組織等の活動と地区社協活動の連携
  - 福祉協力店推進事業の実施 2千円

### 2 担い手養成とネットワーク化支援を推進する

- ①ネットワーク化の推進
  - ボランティアネットワークの推進 **拡充**
  - ボランティア活動室運営 1,184千円
  - ミニケア・ふれあいサロン交流研修会の開催 565千円
  - あかしボランティアフェスタの開催 782千円
  - ボランティア活動助成援助事業の実施 7,793千円



## ②担い手を増やす

- ボランティアのアドバイザーの養成
- ボランティア養成講座の開催 2,359千円
- あかねが丘学園との連携による男性ボランティアの参加促進 **拡充**

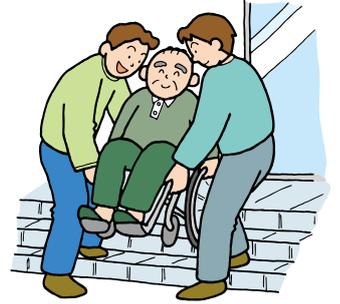
**3 住民と一緒に人のつながりを拡げていく**

## ①地域や団体が実施する福祉活動支援の拡充

- ミニケア・ふれあいサロンなどの事業の充実 **拡充** 2,107千円
- ふれあい会食事業（市受託事業）の実施 4,020千円
- 閉じこもりや孤立化を防ぐふれあい訪問事業の実施 **拡充** 360千円

## ②きめ細やかな福祉ニーズが把握できる体制づくりや相談窓口の設置

- 交流事業やミニケアサロンにおける困りごと相談 **拡充**

**4 フォーマルからインフォーマルまで一貫した視点で地域を支える**

## ①災害時での要援護者支援につながる視点での取組

- 災害ボランティアの登録と活動の支援 **拡充** 60千円

## ②地域包括支援センターの充実とふたみ在宅介護支援センター事業の見直し

- 地域包括支援センターの体制の充実 **拡充** 195,204千円
- ふたみ在宅介護支援センター事業の見直し **廃止**

## ③介護保険等事業の実施について

- 居宅介護支援事業の実施 **拡充** 22,659千円
- 訪問介護事業の実施 **拡充** 11,646千円
- 障害者自立支援事業の実施 **拡充** 10,421千円
- 地域生活支援事業（移動支援事業）の実施 540千円
- 私的契約型ホームヘルパー派遣事業の実施 24千円

## ④障がい者・高齢者等の生活支援

- 福祉サービス利用援助事業（県社協受託事業）の実施 8,022千円
- 生活福祉資金の貸付事業（県社協受託事業）の実施 9,900千円
- 地域活動支援センター事業（市受託事業）の実施 15,659千円
- 車いす貸出事業の実施 435千円
- 福祉機器リサイクル事業の実施 422千円
- 明石市保健医療福祉システムの活用
- 障がい者団体との定期的な懇談会の開催 **拡充**

## ⑤地域における新たな取り組みの推進

- 徘徊・見守りSOSネットワーク事業の実施 **新規**

## ⑥市立総合福祉センターの管理運営

- 市立総合福祉センターの管理運営（市受託事業） **拡充** 84,386千円

**5 市社協の体制を強化・充実する**

## ①多様な情報発信手段の拡充

- 広報紙「あかしの社会福祉」の充実 **拡充**
- 市社協事業のPR **拡充**

## ②ノウハウの継続的蓄積に向けたプロパー（専従）職員を中心とした体制づくり

- 職員の適正配置 **拡充**

③職員研修の充実 **拡充**④自主財源の確保 **拡充**

## 社協プランの進行

社協プランの平成23年度における主な事業の進捗状況については、次のとおりです。市民の方からご意見を募集しますので、5月31日(木)までに郵送またはメールでご意見をお寄せください。

なお進行管理の詳細については、は市社会福祉協議会のホームページに掲載しています。

【メール：daihyo@akashi-shakyo.jp / HP：http://www.akashi-shakyo.jp】

## (1) 地区社会福祉協議会の活動支援を強化する

計画内容		取り組み状況		総合評価	事業の今後の方向性
重点取組のポイント	具体的取り組み	達成度	平成23年度		
①地区の特性を活かした地区社協の在り方の再検討	1-1 (拡充) 地区社協が主役となった圏域の活動の支援	A	地域主導により、社協プランに定める「地域主体の圏域設定」が実現できた。市社協も地区社協の再編が円滑に進むよう、側面支援することができた。	A	市の小学校区単位のまちづくりの方針も踏まえながら、地域の自主性を尊重し、地域が活動しやすい体制づくりへの支援を行う。
	1-2 (新規) 「地区社会福祉協議会ハンドブック」の作成	A	地区社協との意見交換などを行い、地区社協活動の手引きとなる地区社協ハンドブックを作成した。	A	今後も有効に活用できるように、適宜、追加、修正等を行い、地区社協の役割や活動などについて、地区社協の役員等に理解を深めてもらう。
	1-4 (新規) 地区社協ニュースによる活動のPR	A	平成26年度からの実施予定であったが、地域から声が上がって、高丘地区と大久保小学校地区で先行実施した。	A	地区社協活動のPRチラシや広報紙の作成を各地区社協へ働きかける。
②市社協における地区担当制の導入	1-7 (新規) 地区担当職員による地区社協の支援	A	地区担当職員4名が地域に向き、活動支援を行った。	A	地区担当職員の資質の向上を図るとともに、担当地区における各種会議やイベントに積極的に参加するなど、地域とのつながりをより強めていく。

## (2) 担い手養成とネットワーク化支援を推進する

計画内容		取り組み状況		総合評価	事業の今後の方向性
重点取組のポイント	具体的取り組み	達成度	平成23年度		
①ネットワーク化の推進	2-2 (拡充) ボランティアのネットワークの推進	A	実態を考慮して一日ボランティア体験教室の実施方法を変更した。校区ボランティア交流会は、14校区に広がりを見せ、中学校区はすべて開催されるようになった。	A	ボランティアの養成とボランティアグループの連携強化を推進する。
②担い手を増やす	2-4 (拡充) 地域でのボランティアの養成	B	担い手増につなげるため、地域や学校からの要請に応じ、ボランティアグループとの調整を行い、福祉学習の開催を支援した。	A	福祉学習などをさらに充実させ、活動の担い手を増やしていく。

## (3) 住民と力を合わせて人のつながりを広げていく

計画内容		取り組み状況		総合評価	事業の今後の方向性
重点取組のポイント	具体的取り組み	達成度	平成23年度		
②地域や団体が実施する福祉活動支援の拡充	3-2 (拡充) 花見会などのつどいやミニケア・ふれあいサロンなどの事業の充実	A	つどいやミニケア・ふれあいサロンの実施に向けての支援を行った。	A	地域におけるきめ細かな地域福祉活動を推進し、地域の福祉力を高めていくために、さらに充実させていく。
	3-3 (拡充) 閉じこもりや孤立化を防ぐふれあい訪問事業の実施	B	錦城地区、野々池地区、望海地区、山手小学校地区で実施した。	A	高齢者等の閉じこもりや孤立化を防ぐためには、地域の力が必要であり、地区社協、地域ボランティア等の理解と協力を得て、全市的な取り組みに広げる。

管理の進捗状況

達成度

総合評価

A:高い B:やや高い C:ふつう D:やや低い E:低い

A:拡充 B:維持 C:縮小 D:改善 E:休止

(4) フォーマルからインフォーマルまで一貫した視点で地域生活を支える

計画内容		取り組み状況		総合評価	事業の今後の方向性
重点取組のポイント	具体的取り組み	達成度	平成23年度		
②災害時での要援護者支援につながる視点での取り組み	4-2 (拡充) 災害ボランティアの登録と活動支援	A	東日本大震災派遣ボランティアの多くが、災害ボランティアに登録した。	A	災害発生時に、迅速かつ効果的に救援活動が行えるよう、災害ボランティアの登録者数を増やしていくとともに、研修、訓練等の実施回数を増やしていく。
③地域包括支援センターの充実とふたみ在宅介護支援センター事業の見直し	4-4 (拡充) 地域包括支援センターの体制の充実	A	正規の社会福祉士を採用し、体制の充実を図った。また、保健、医療、福祉関係者、民生児童委員、自治会、ボランティア等との連携強化を図った。	A	複雑化する包括的支援事業および業務件数の増加に適切に対応できるよう、さらなる体制整備を進める。
	4-5 (見直し) ふたみ在宅介護支援センター事業の見直し	A	ふたみ在宅介護支援センターの撤退について、理事会をはじめ、地元住民、関係機関等へ説明を行い、H24.4から新事業者へスムーズに引き継ぐことができよう、取り組むことができた。	E	ふたみ在宅介護支援センターについては、二見地区の民間事業者も増えてきたため、平成24年度から民間に委ねることとし、今後は、全市的な地域福祉活動支援に重点化する。
④介護保険事業の実施についての見直し	4-6 (見直し) 介護保険事業の実施についての見直し	C	居宅サービス計画105ケース、介護予防サービス計画22ケースを担当しており、国の定める基準をほぼ達成している。	D	独立採算制が問われる事業であるので常に改善を検討していく。
		D	居宅サービス計画利用者の約50人が訪問介護を利用しているにもかかわらず、市社協が担当する訪問介護は15ケースにとどまっている		
⑤障がい者、高齢者等の生活支援	4-7 (拡充) 障がい者、高齢者等の生活支援	A	身体障がい者福祉協会や市視覚障がい者福祉協会との懇談会を開催するとともに、135Eネットの定例会に出席し、社協と各種団体との関係づくりや要望の把握に努めた。	B	当事者団体と市社協との関係づくりや、要望の把握、潜在的なニーズの掘り起こしなどにつなげるため、定期的な懇談会を継続して行っていく。
⑥地域における新たな取り組みの推進	4-8 (新規) (仮称) 地域お助け隊の推進・支援	A	社協プランでは、「地域における新たな取り組みの推進」は平成26年度から実施していることとしているが、「徘徊・見守りSOSネットワーク事業」について、事業財源が確保できたことから、システムの開発や登録の案内など、先行実施した。	A	高齢者や障がい者の生活支援のため、既存サービスの隙間にある新たなサービスの提供をさらに拡充していく。

(5) 市社会福祉協議会の体制を強化・充実する

計画内容		取り組み状況		総合評価	事業の今後の方向性
重点取組のポイント	具体的取り組み	達成度	平成23年度		
①多様な情報発信手段の拡充	5-1 (拡充) 広報紙「あかしの社会福祉」の充実	B	広報紙「あかしの社会福祉」No.71 (7月号) からフルカラー印刷に変え、少しでも市民の方に見てもらおうように工夫するとともに、内容の充実に努めた。	A	今後も市民の必要とする情報を、分かりやすく、タイムリーに伝えることができるようホームページや広報紙などの充実を図る
	5-2 (拡充) 市社協事業のPR		ホームページについても絶えず最新の情報を提供できるように内容を更新した。広報紙については自治会回覧なので、市民にひろく目してもらっているとはいえない		
③ノウハウの継続的蓄積に向けたプロパー(専従)職員を中心とした体制づくり	5-4 (新規) 職員の適正配置	A	正規職員として主任介護支援専門員の採用には至らなかったが、社会福祉士(又は社会福祉主事任用資格を有するもの)を2名採用することができた。	A	地域との継続的な連携を図っていくため、期間限定の市派遣職員を計画的にプロパー(専従)職員へ置き換え、地域福祉の専門職(社会福祉士など)を中心とした体制づくりを進める。

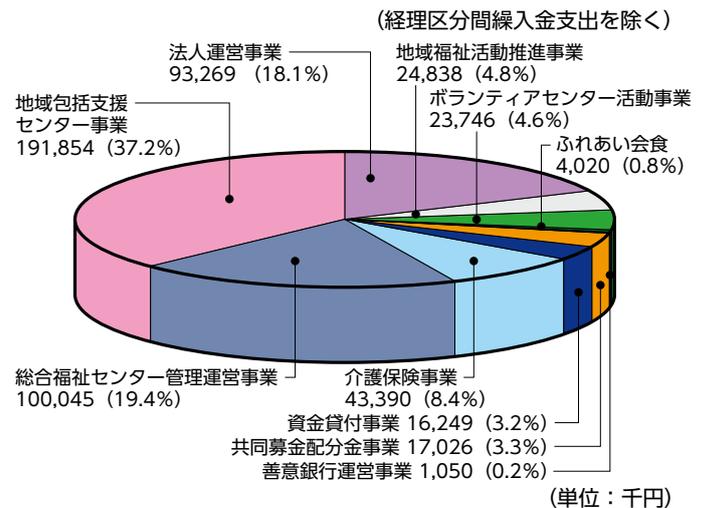
◆平成24年度 経常活動資金収支予算 (単位：千円)

勘定科目		金額	
経常活動	収入	会費収入	13,003 2.4%
		寄附金収入	1,000 0.2%
		経常経費補助金収入	139,680 26.3%
		受託金収入	235,546 44.4%
		事業収入	410 0.1%
		貸付事業収入	7,000 1.3%
		共同募金配分金収入	17,026 3.2%
		介護保険収入	105,670 19.9%
		自立支援費等収入	10,200 1.9%
		補助事業等収入	672 0.1%
		私的契約利用料収入	24 0.0%
		雑収入	102 0.0%
		受取利息配当金収入	506 0.1%
		合計	530,839 100.0%
		支出	人件費支出
事務費支出	57,897 11.2%		
事業費支出	101,640 19.7%		
貸付事業等支出	7,000 1.4%		
共同募金配分金支出	1 0.0%		
分担金支出	40 0.0%		
助成金支出	25,653 5.0%		
負担金支出	1,808 0.4%		
合計	515,487 100.0%		
経常活動資金収支差額		15,352	-

(経理区分間繰入金収入・支出を除く)

◆平成24年度 事業別資金予算 (支出) (単位：千円)

費用	経常支出
法人運営事業	93,269
地域福祉活動推進事業	24,838
ボランティアセンター活動事業	23,746
ふれあい会食事業	4,020
善意銀行運営事業	1,050
共同募金配分金事業	17,026
資金貸付事業	16,249
介護保険関連事業	43,390
特別会計	
総合福祉センター管理運営事業	100,045
地域包括支援センター事業	191,854
合計	515,487



＊会員募集(会費)のお願いとお礼＊

市社会福祉協議会は、社会福祉法に定められた非営利の福祉団体です。

みなさんの参加協力を得て、高齢者のふれあい会食や地域ボランティアグループ等による要支援高齢者等の生活支援を進めるほか、市内130ヶ所をこえる自治会集会所等での車いす貸出事業などさまざまな地域福祉活動に取り組んでいます。そして、これらの活動を財源面から支えるため、毎年5月下旬に、各自治会、町内会、民生委員等の協力を得て、普通会費や特別賛助会費・施設団体会費をお願いしています。

平成23年度社会福祉協議会会費の状況は次のとおりです。ありがとうございました。

市社会福祉協議会の活動の趣旨をご理解いただき、本年度もみなさんにご加入いただきたく、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

	23年度会費
普通会費 (一世帯 120円/年)	10,431,670円
特別賛助会費 (一口 2,000円/年)	1,248,000円
施設団体会費 (一口 5,000円/年)	280,000円
合計	11,959,670円

主な活用状況

- 1 地区社会福祉協議会支援事業費 [4,577,890円]
  - ・地域の各種団体等の活動支援
  - ・地域での福祉啓発事業等の実施 (元気アップ事業、福祉スクール、ボランティア交流会などの実施)
- 2 地域福祉活動事業実施のための社協運営費 [7,381,780円]
  - ・市社会福祉協議会事務事業費
  - ・ボランティアセンター運営事業費
  - ・在宅、地域福祉活動推進費等

東日本大震災義援金

前号掲載分以降3月31日までにいただきました義援金、支援金は右記のとおりです。

(敬称略)

【ボランティア活動に対する支援金】	15,000円
ふれあいフェスティバル実行委員会 (追加)	15,000
【義援金】	144,245円
二見元気アップフェア (二見地区社協)	33,474
松岡 奈加雄	100,000
明石市役所募金箱	7,921
明石市民生児童委員協議会	2,850

## 平成24年度 明石市社会福祉協議会ボランティア養成講座のご案内

あなたもボランティア活動に参加してみませんか？平成24年度に下記のボランティアの養成講座を開催します。

【対象者】 ボランティア活動に関心のある方（明石市に在住または在勤）

【受講料・保険料】 1,000円（ほかにテキスト代が必要な場合があります。）

【申込み・問合せ】 市社会福祉協議会 地域福祉係 電話(078)924-9105 FAX(078)924-9109

※内容・日時等については、予定ですので、都合により変更する場合があります。

最新の情報については広報あかしままたは市社会福祉協議会ホームページをご覧ください。

事業名	日時	回数	場所※	募集人員	内容	申込開始日	
介護ボランティア養成講座	6/22(金)~7/19(木) 13:30~15:30	5回	A	15人	認知症高齢者の心安らぐ、楽しいひと時を過ごしてもらうための、手作りの場づくりに協力してもらえらるボランティアの養成講座。	6月1日	
点訳ボランティア養成講座	9/27(木)~11/15(木) 10:00~12:00	8回	A	20人	視覚障がい者への情報提供の充実と社会参加を促進するため点字の基礎知識を学び、点訳を行うボランティアの養成講座。	9月1日	
朗読ボランティア養成講座	9/26(水)~11/28(水) 10:00~12:00	10回	A	15人	視覚障がい者への理解を深め、朗読による情報提供のための基本的な技術を学び、社会参加と自立を応援するボランティアの養成講座。	8月15日	
要約筆記ボランティア養成講座	5/25(金)~8/3(金) 13:00~16:00	11回	A	20人	聴覚障がい者への理解を深め、OHPやノートテイク等による情報を提供する基本的な技術を習得し、聴覚障がい者の社会参加と自立を応援するボランティアの養成講座。	5月1日	
手話ボランティア養成講座	10/3(水)~2/27(水) 10:00~12:00	20回	A	20人	聴覚障がい者への理解を深め、手話による日常会話の初歩を習得し、手話通訳をめざすボランティアの養成講座。	9月1日	
外出応援 ボランティア 養成講座	車いす介助	5/22(火)~6/5(火) 10:00~12:00	3回	B	15人	体の不自由な人や高齢者の歩行介助や車いす介助、視覚障がい者のガイド・ヘルプなど、外出時の介助について学ぶ。それぞれ3回シリーズで開催する。	5月1日
	車いす介助	1/22(火)~2/5(火) 10:00~12:00	3回	A	15人		12月15日
	視覚障がい者 ガイドヘルパー	5/24(木)~6/7(木) 10:00~12:00	3回	B	15人		5月1日
	視覚障がい者 ガイドヘルパー	1/24(木)~2/7(木) 10:00~12:00	3回	A	15人		12月15日
レクリエーションボランティア 養成講座	11/22(木)~12/13(木) 10:00~12:00	4回	A	10人	レクリエーションを通じて雰囲気や和ませ、人との輪を広げていくためのレクリエーションの方法を学ぶ講座。	11月1日	
ミニミニ手話市民講座	6/2(土)~10/20(土) 13:30~15:00	5回	B	30人	地域(近隣)の中で聞こえずに困っている人が孤立せず、ふれあいの輪を広げる事を目的に初歩的な手話を学ぶ。	5月1日	

※場所のAは市立総合福祉センター、Bはふれあいプラザあかし西ボランティア活動室になります。



H24.1.1~H24.3.31(敬称略)

善意銀行とは？・・・皆様から寄せられた善意の金品を預託という形でお預かりし、福祉の増進を目的に社会へ還元しています。

みなさまの善意に感謝します！

**金銭預託** (65,418円)

福林寺 林泰稔、生田一雄、辻井利彦、Yショップ林崎駅前店  
匿名6件

**物品預託** (車いす、電動車いす 他)

大久保小学校、明石市交通労働組合、ナブテスコ株式会社



# インフォメーション

## 車いすの貸出・福祉機器リサイクル

市社会福祉協議会では、無料で車いすの貸出を行っています。また福祉機器リサイクル事業も行っていますので、ご家庭で使わなくなった再利用可能な電動ベッドや車いすなどがありましたらご連絡ください。

市社会福祉協議会 在宅福祉係 TEL078-924-9105

## 高齢者の身近なレクリエーション施設「ふれあいの里」

### 利用のご案内

中 崎	大 久 保	魚 住	二 見
【健康体操】 月曜～土曜	【健康体操】 月曜～土曜	【健康体操】 月曜～土曜	【健康体操】 月曜～土曜
【健康相談】 月曜(第1、第3)	【健康相談】 木曜(第1、第2、第3、第4)	【健康相談】 水曜(第1、第3)	【健康相談】 火曜(第2、第4)
【お風呂】 月曜、木曜	【お風呂】 火曜、金曜	【お風呂】 火曜、木曜	【お風呂】 水曜、金曜
【カラオケ】 火曜～土曜	【カラオケ】 月曜～土曜	【カラオケ】 月曜、水曜、金曜、土曜	【カラオケ】 月曜～土曜
【囲碁、将棋】 月曜～土曜	【囲碁、将棋】 月曜～土曜	【囲碁、将棋】 月曜～土曜	【囲碁、将棋】 月曜～土曜



中 崎



大 久 保



魚 住



二 見

所在地 明石市中崎1丁目2-22  
TEL (078)913-6200

所在地 明石市大久保町大窪3423  
TEL (078)936-5048

所在地 明石市魚住町西岡367-4  
TEL (078)947-1202

所在地 明石市二見町西二見605-1  
TEL (078)943-4001

### 【全館】

開館時間 午前9時～午後4時まで(※7月、8月のみ午前9時～午後4時30分まで)

休館日 日曜日及び12月29日～1月3日まで

### ※ご利用について

市内に住所のある満60歳以上の方及びその介護者に限ります。なお、ご利用には65歳以上の方は高年手帳、60歳～64歳の方は利用者証を発行しますので健康保険証等の身分証明書をご持参下さい。利用料は無料です。まずは、お電話で最寄りのふれあいの里へお問合せ下さい。

## 急募

## 臨時職員募集!



市社会福祉協議会地域包括支援センターでは

- ・臨時介護支援専門員
- ・臨時社会福祉士
- ・臨時看護師

を募集しています。詳しくはお電話かホームページ (<http://www.akashi-shakyo.jp>) まで

【お問い合わせ】市社会福祉協議会 地域包括支援センター TEL 078-924-9113

### 新役員紹介

3月29日に開催された理事会と評議員会で、次の方々が新たに選任されました。(敬称略)

理事 山下 孝光 (市社会福祉協議会)

評議員 奥村 芳弘 (市生活福祉課長)

(任期 平成24年4月1日～平成24年7月14日)